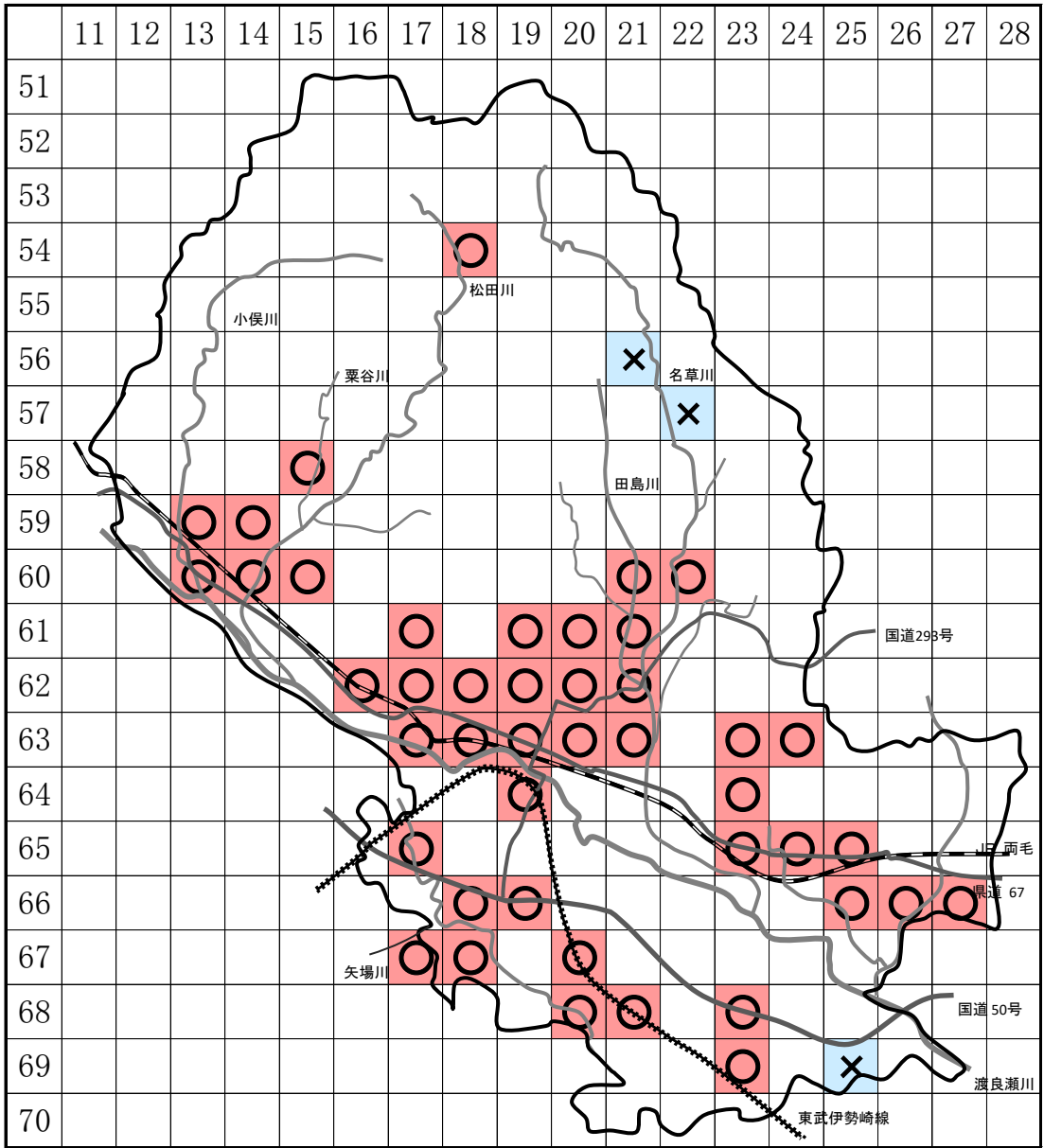


がいらい 外来タンポポ セイヨウタンポポ アカミタンポポ	確認数： 44 メッシュ
	報告数： 47 メッシュ
	2022年度 48/49 2021年度 55/57

※過年度 確認数/報告数



花の色が黄色で総苞片がそりかえるもの。どちらもヨーロッパ原産で明治時代に日本に入ってきた。アカミタンポポは名の通り果実が赤味を帯びる種類だが、セイヨウタンポポと区別しにくいので、まとめて外来タンポポとする。花は主に春に咲くが、夏や秋にも咲いているものがある。

かんさつてきき
観察適期
 (花) 4月～5月

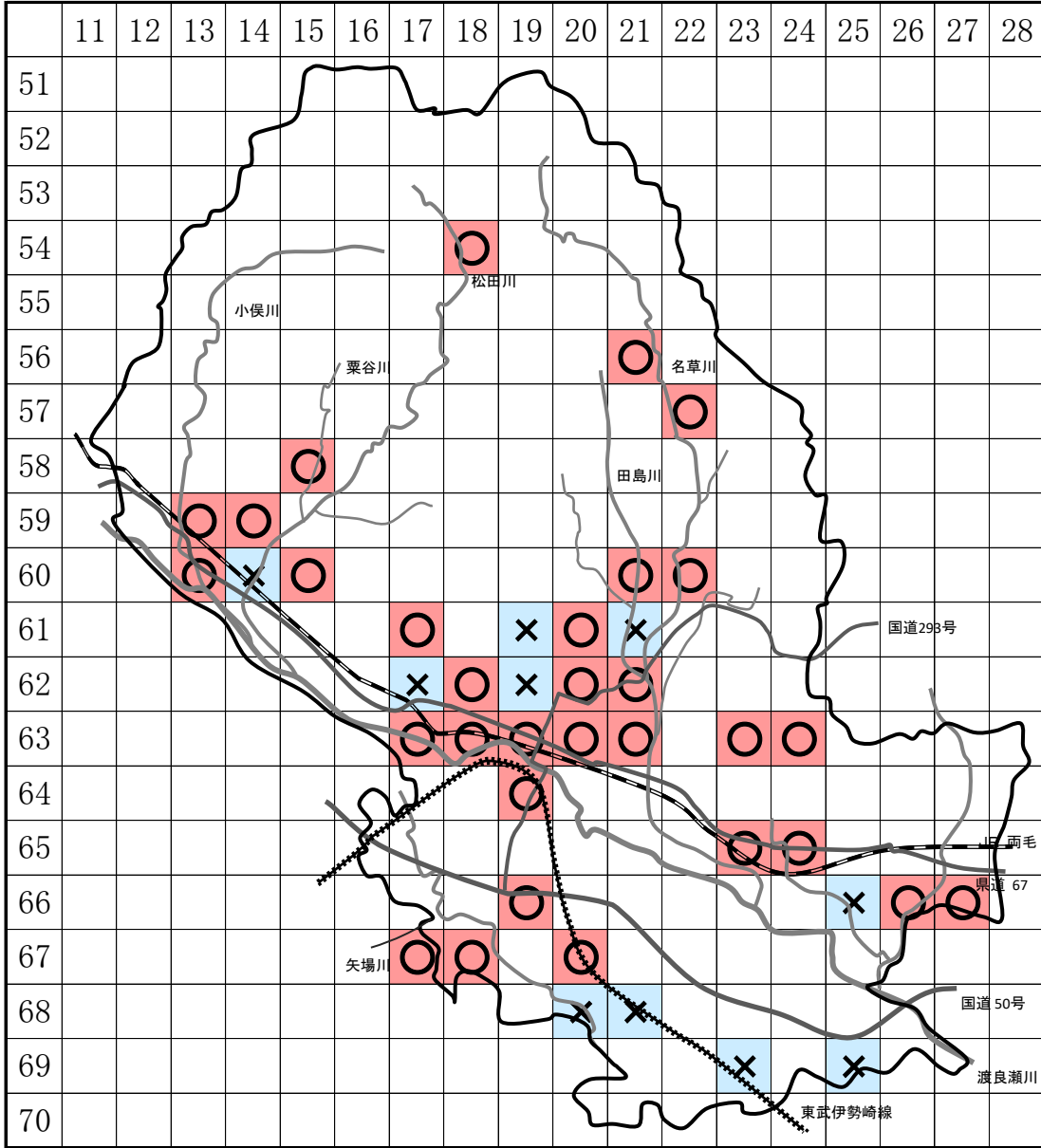
- ・生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

調査をしたメッシュで、非常に高い確率で確認ができていますが、都市化が進んでいるのかと思います。空白のメッシュも多くありますので、次年度はその辺りの調査結果にも興味があります。

ざいらい 在来タンポポ ニホンタンポポ(エゾタンポポ) カントウタンポポ	確認数： 31 メッシュ
	報告数： 41 メッシュ
	2022年度 32/42 2021年度 35/48

※過年度 確認数/報告数



はなが黄色で総苞片が
 そりかえらないもの。
 従来、足利付近のものはエゾタンポポとカントウタンポポの2種類と
 考えられていたが、最近の研究でニホンタンポポとしてまとめた
 ほうがよい事が分かった。
 花の開き方が明るさによって変わるので、くもった日などに注意
 してみたい。

観察適期
 (花) 4月～5月

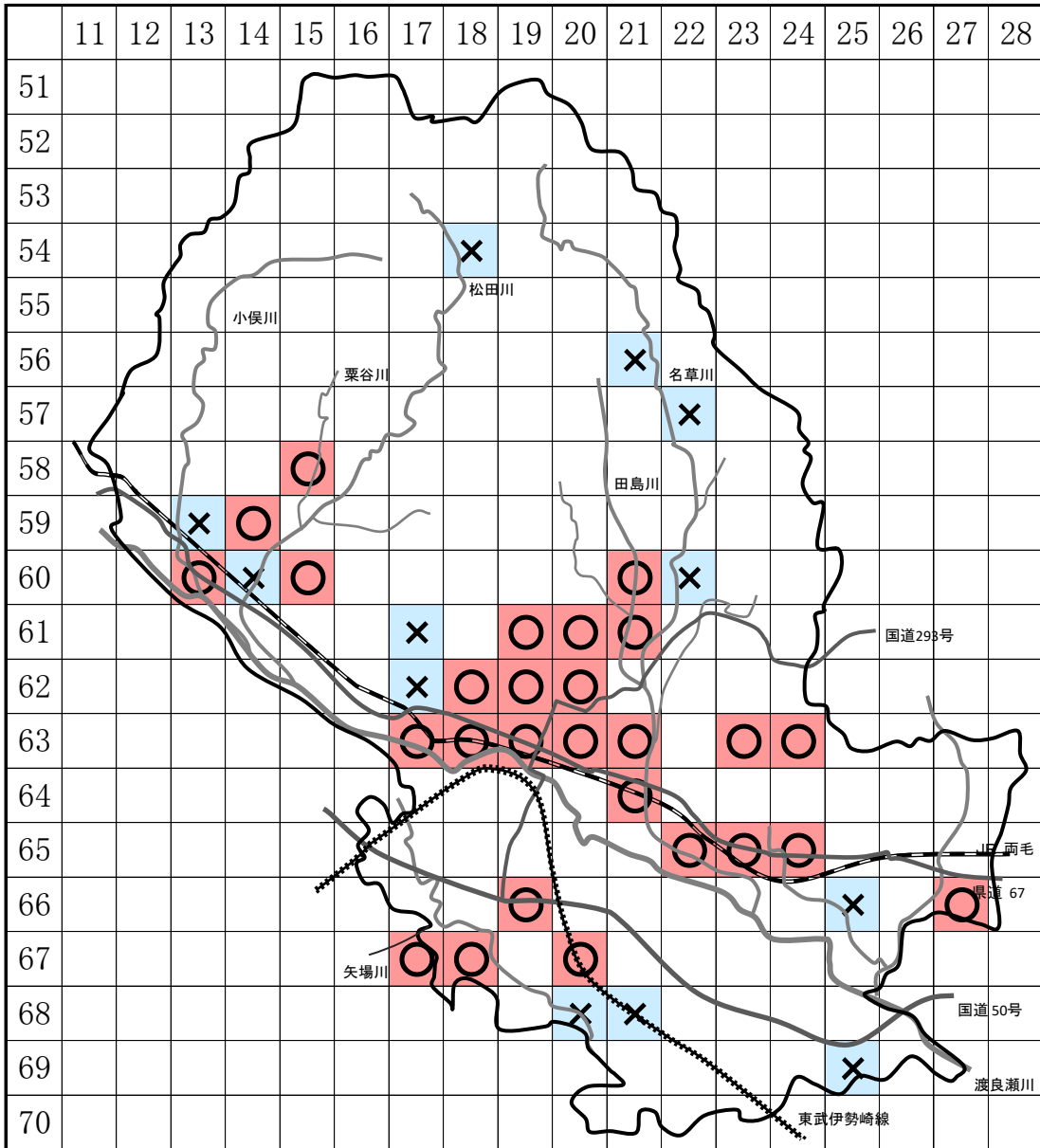
- 生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- 生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

過去4年間、出現率に大きな変化は見られませんでしたので、生育環境は比較的安定していると思
 います。
 河南地域で確認できなかったメッシュが少し多いので気になります。

シロバナタンポポ	確認数： 27 メッシュ
	報告数： 39 メッシュ
	2022年度 26/37 2021年度 31/48

※過年度 確認数/報告数



花が白色（中心付近がやや黄色味を帯びる）なのはこの一種だけである。
昔から日本にあった種（在来種）であるが、よく自立つので黄ばなしゅと区別して調べてみよう。ただし、総苞片がそりかえるので開花時以外では外来タンポポとの区別に注意したい。

観察適期
(花) 4月～5月

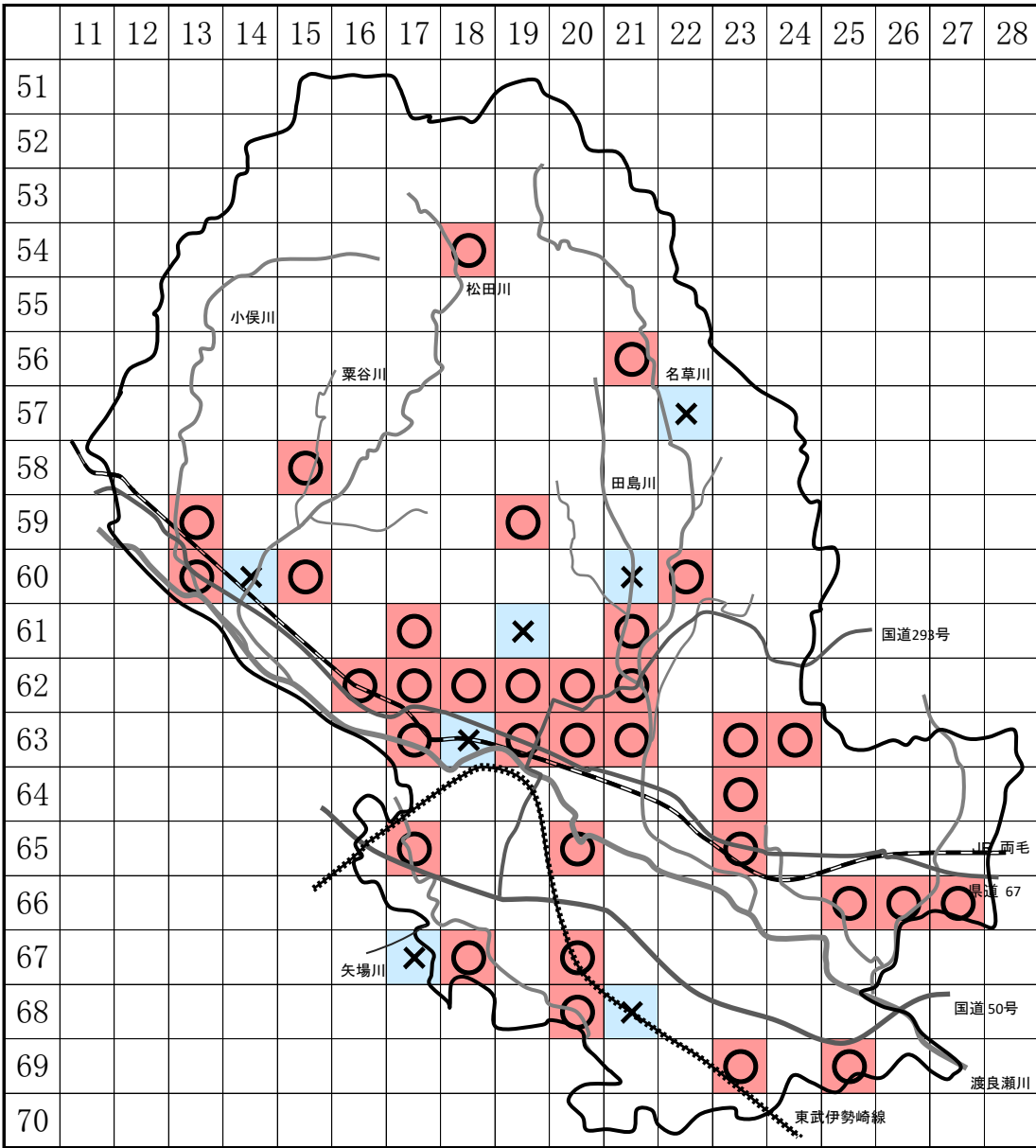
- ・生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

ここ数年、出現率は60%～70%で推移していますが、それなりに生育環境は安定していると思います。
前年度は河南地域は確認数0でしたが、今年度は4メッシュで確認できましたので嬉しく思っています。

ネジバナ (モジズリ)

確認数： 34 メッシュ
 報告数： 41 メッシュ
 2022年度 30/38 2021年度 37/47
 ※過年度 確認数/報告数



野の草地、河原の土手、芝生の中などに生える愛らしい多年草。茎は高さ10~30cmで、まっすぐ立ち、上の方に「らせん」状に淡紅色の5mmほどの花をつける。名前はこの花のつき方からついたものである。

かんさつてきき
観察適期
 (花) 6月~8月

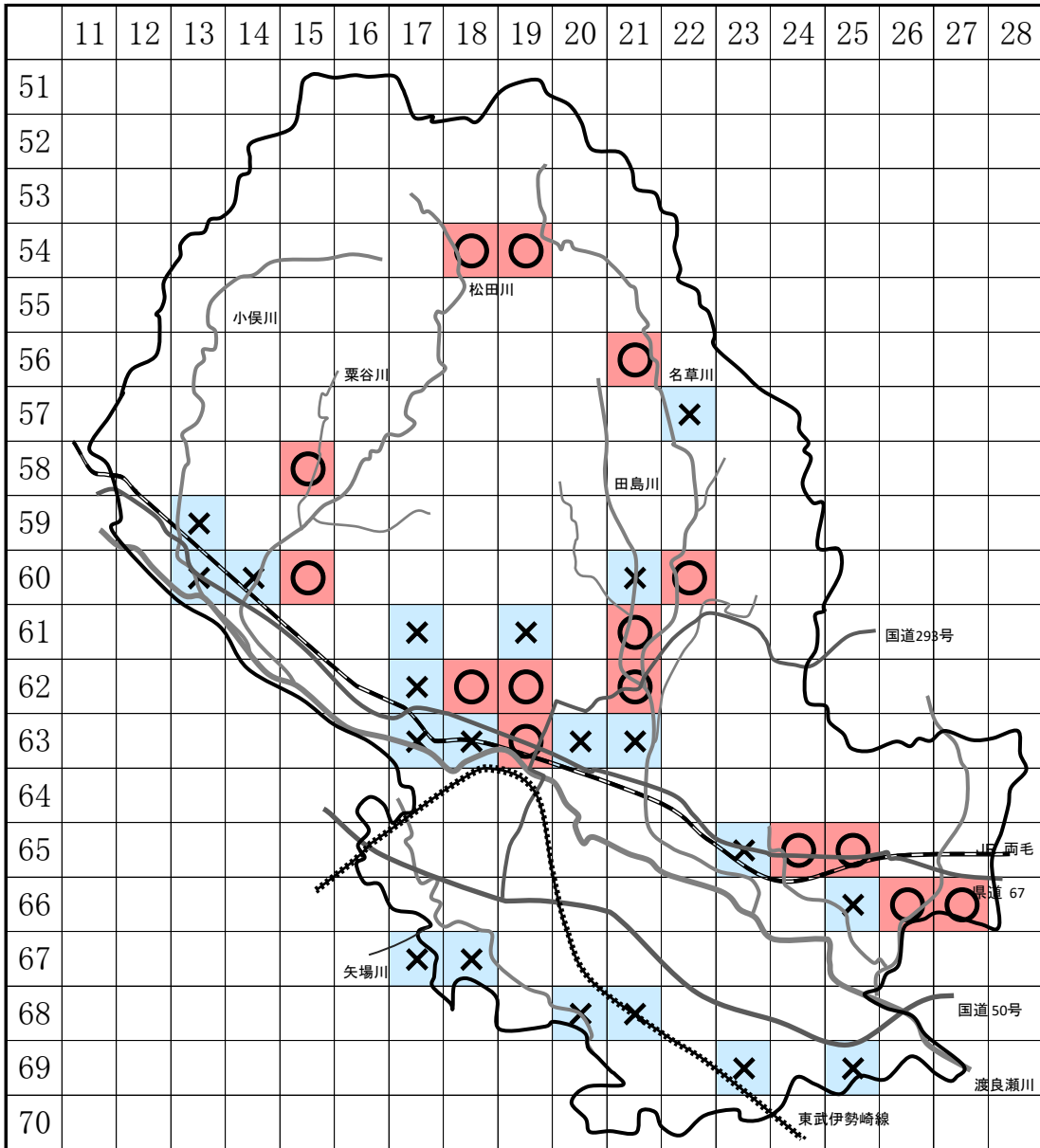
- 生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- 生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

ラン科植物の中では、比較的人の身近な芝生や丈の低い草地、土手の斜面に生育しています。出現率も70%~80%で安定している様です。

ヤマユリ	確認数： 15 メッシュ
	報告数： 35 メッシュ
	2022年度 22/34 2021年度 18/36

※過年度 確認数/報告数



やまの はやし の 林のふちなど
 の、主に傾斜した草む
 らに生える多年草。高
 さは1mぐらい。花は白
 く内側に赤い斑点があ
 り、直径20～25cmで、
 にほんの草の中では最
 大。強い香りがあり7
 ～8月に咲く。地下に
 鱗茎があり食用にす
 る。

かんさつてきき
観察適期
 (花) 7月～9月

- 生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- 生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

2020年～2023年の4年間で今年度は最も少ない確認数になりました。
 確認数の少なさが今後も続くのか、または今年度だけの事なのかを注目したいと思ひます。

ヨシ (アシ)

確認数： 30 メッシュ

報告数： 39 メッシュ

2022年度 33/38 2021年度 38/43

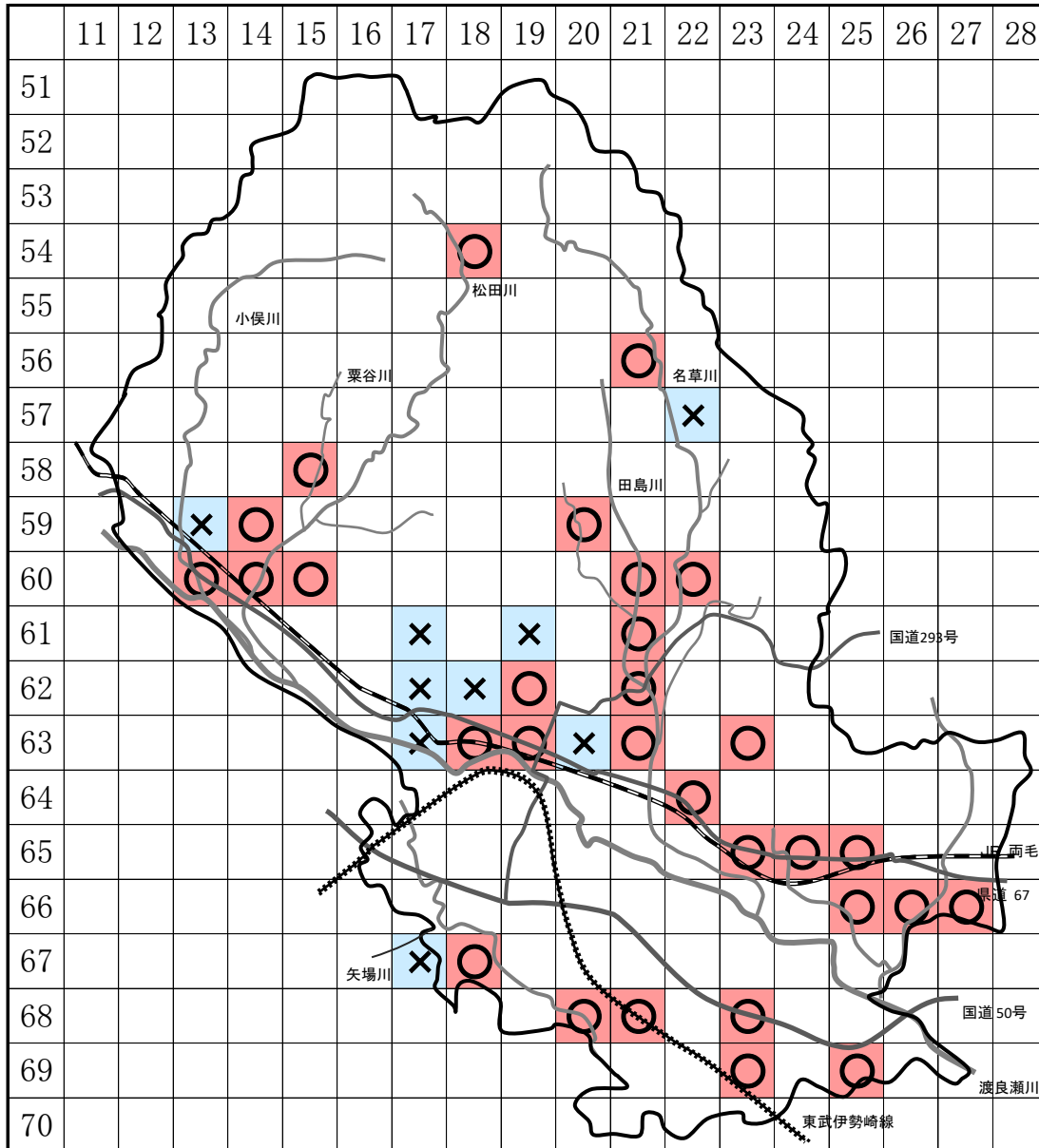
※過年度 確認数/報告数



池や沼、川岸、湿地
に生える大型の多年
草。

太い地下茎をのぼし
群生する。1.5~3mの
丈夫な茎は「よしず」
を作るのに用いられ
る。8~10月に大型の
スキのような穂をつ
ける。

観察適期
年間



・生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示

・生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

前年度よりも確認数は少し減少しましたが、まだ出現率は安定していると思います。
池沼や川岸などに群生します。スキやオギ等と間違わないように調査してください。

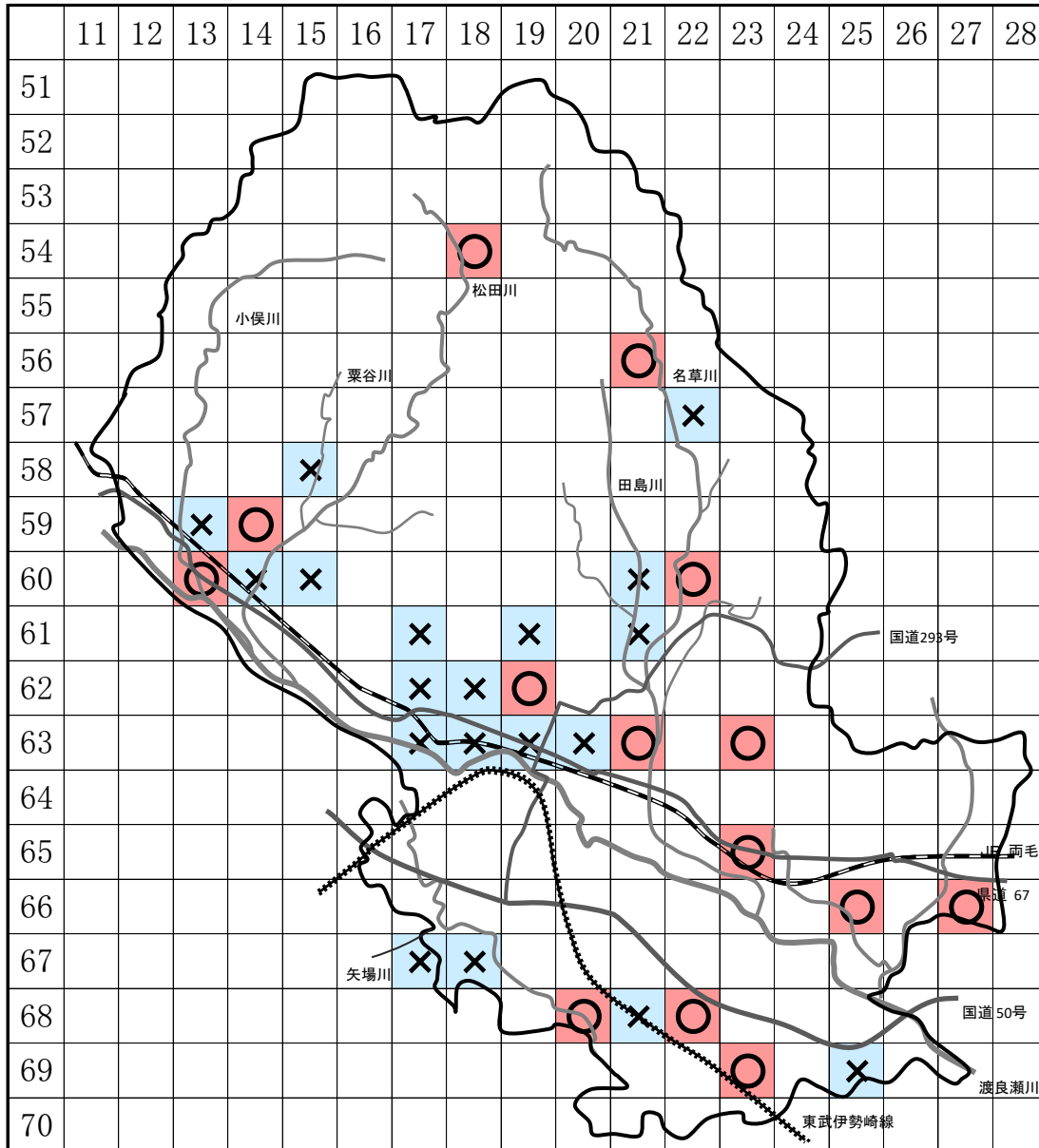
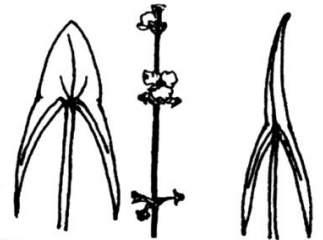
オモダカとアギナシ

確認数： 14 メッシュ

報告数： 33 メッシュ

2022年度 18/35 2021年度 19/35

※過年度 確認数/報告数



すいでん ようすいろ めまの水田や用水路、沼のへりなどに生える。花は夏～秋に咲き、白い花弁が3枚でよく自立つ。葉は矢じり型、アギナシの方が細いが遠くから見ただけでは区別しにくい。どちらも同じような環境に生える水生植物の代表的なものとしてまとめて調査する。

かんさつてきき
観察適期
(花) 7月～9月

・生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示

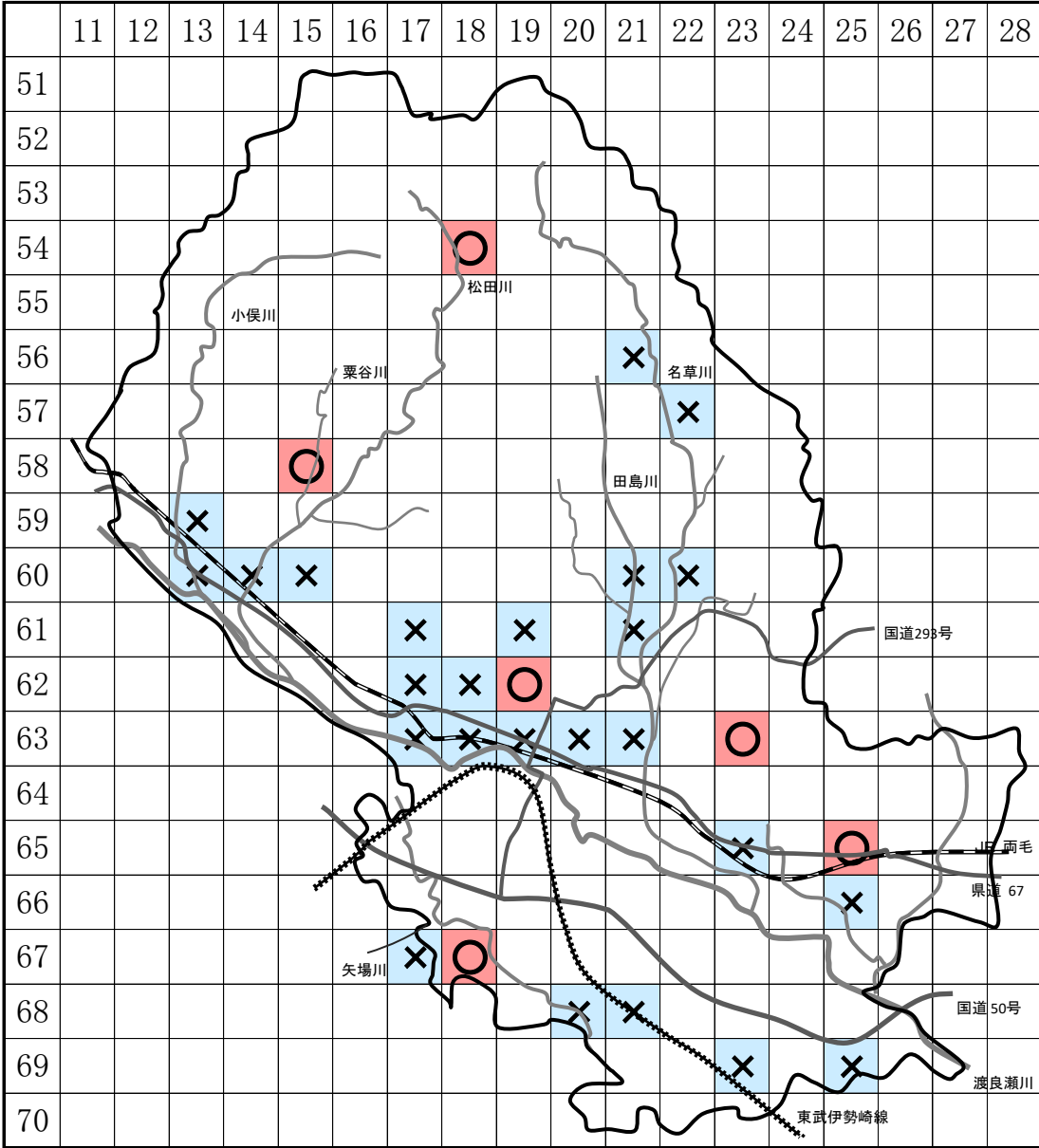
・生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

過去3年間と比較すると、今年度は出現率が初めて40%台になりました。理由はいろいろと考えられると思いますが、もう少し推移を見守りたいと思います。田や流れの緩い水路等に特徴的な葉と、夏に白い花を咲かせます。

ガ マ ズ ミ	確認数： 6 メッシュ
	報告数： 31 メッシュ
	2022年度 16/33 2021年度 18/39

※過年度 確認数/報告数



やまのののの林のなかに
 は生える高さ2~3mの落
 ようていぼく葉低木。5~6月ごろ、
 えださきしろはなあつ
 枝先に白い花が集まっ
 て咲く。10月には、
 5mmほどの卵形の実が
 あかのちくろじゆく
 赤く、後に黒っぽく熟
 し、あまずっぱくてたべ
 られる。

かんさつてきき
観察適期
 はながつ(花)5月(実)10月

- ・生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

ぜんねんどかくにん
 前年度確認できたいくつかのメッシュで今年度は確認できませんでした。
 おお
 多くは山や丘陵地に生育するので、山間部が調査の対象になるとおもいますが、5月頃の花期と10月
 ころあかみみのが
 頃の赤い実を見逃さないで調査をお願いします。